

麻布だより

校長 宮島 淳一 ◇ホームページ <http://azabu-es.minato-kyo.ed.jp/> 港区立麻布小学校
東京都港区麻布台 1-5-15 TEL 03(3583)0014 FAX 03(3583)7223

「グルーの桜」 ～ 年々引き継いでいく平和の心 ～

校長 宮島 淳一

今年の桜は遅咲きでした。校庭や学校周辺には10本以上の桜の木がありますが、始業式・入学式に合わせたかのようにソメイヨシノの花が一面に咲きほこり彩りました。その花々が散って若葉が芽生えるころに遅咲きする一本の桜の木があります。校庭の幼稚園側の砂場近くに白い柵で囲われている桜の木です。関山桜（八重桜の一種）の種類の花で「グルーの桜」と命名されています。この「グルーの桜」は、今から14年前の平成22年（2010年）10月19日に本校135周年記念として植樹されました。「グルーの桜」の「いわれ」について紹介します。

グルーこと、ジョセフ・グルー氏は、日米間が交戦状態に入ったときに日本に駐在していた米国大使です。1941年12月に日本軍による真珠湾攻撃により日米両国は交戦状態に入ってしまった。本国から帰国を命じられたグルー氏は、1942年6月に大使館公邸の庭園に日米間の平和を祈念して桜の苗木を植えました。「桜が咲くころ、時計の振り子が戻るように平和がよみがえる」という言葉を残したそうです。

戦後になって、苗木が成長しました。駐日大使ライシャワー氏が取り木をして「二世」が生まれ、麻布小学校にはさらに取り木した「三世」のものを植樹していただくことになりました。植樹式典には、当時の駐日米国大使ジョン・ルース氏も出席し挙行されました。

現在は、平和な麻布小を見守る「グルーの桜」の花が毎年咲きほこります。グルー氏が桜の木に祈念した平和な日本が実現しました。SDGsの目標16は「平和と公正をすべての人に」です。「グルーの桜」の花を毎年見る季節に、グルー氏の願った思いを馳せ、自分たちが持続可能な「平和」にどのように寄与できるかを問い続けていきたいと思ひます。

